

## ●調査レポート

### 埼玉県内企業の2012年度春季賃上げ見通し調査

**調査対象**：県内企業 567 社

**調査方法**：アンケート方式（2月上旬 郵送回収）

**回答企業**：288 社(回答率 50.8%)

**業種別内訳**：製造業 165 社 非製造業 123 社

#### 要旨

○本調査が実施された2012年2月上旬の時点で、欧州債務危機の見通しが立たず海外経済の減速や極端な円高など、企業を取り巻く経営環境は厳しかった。このため今春の賃上げ見通しは、業種間あるいは規模の違いによる差異も含め、総じて慎重な姿勢が窺われる結果となっている。

○全体では、賃上げ(定昇込み、以下同じ)を予定している割合(賃上げ額が前年度比「増加予定」、「前年度並み」及び「減少予定」の合計、以下同じ)が57.8%と前年度比0.8%増とほとんど変わらない中、「賃上げなし」が33.5%と1.6%増加し、やや厳しい情勢が見込まれている。

○業種別では、賃上げを予定している割合は、製造業が59.3%と前年度比2.3%減少したのに対し、非製造業が55.8%と5.8%増加した。「賃上げなし」は、製造業が32.7%と6.7%増加したのに対し、非製造業は34.5%で6.4%減少した。製造業が、海外経済の影響を受けやすく、非製造業よりやや厳しくなっていることが窺われる。

○規模別では、「規模の大きい企業」(従業員100人以上、以下同じ)の賃上げを予定している割合は63.8%で、「規模の小さい企業」(従業員100人未満、以下同じ)の52.5%を11.3%上回るほか、「規模の大きい企業」の「賃上げなし」の割合が25.8%と、「規模の小さい企業」の40.3%を14.5%下回り、大きな差違となっている。

○1人当たり平均賃上げ予定額と賃上げ予定率(両者とも定昇込み加重平均、以下同じ)は、全産業の金額ベースで2,874円、率で1.29%とともに昨年度の3,181円、1.34%よりやや低くなっている。業種別では、製造業が2,421円、1.15%で、非製造業の3,306円、1.43%より低く、規模別でも、「規模の大きい企業」は3,031円、1.40%で、「規模の小さい企業」の2,119円、0.79%より高くなっている。

#### 1. 春季賃上げ見通し

～全産業で4割強の企業で前年度並みの賃上げ予定～

##### (1) 全体

今春の賃上げ情勢は、賃上げを予定している割合は57.8%と前年度比0.8%増とほとんど変わらなかったが、「賃上げなし」が33.5%と前年度比1.6%増加し、やや厳しい情勢が見込まれる。

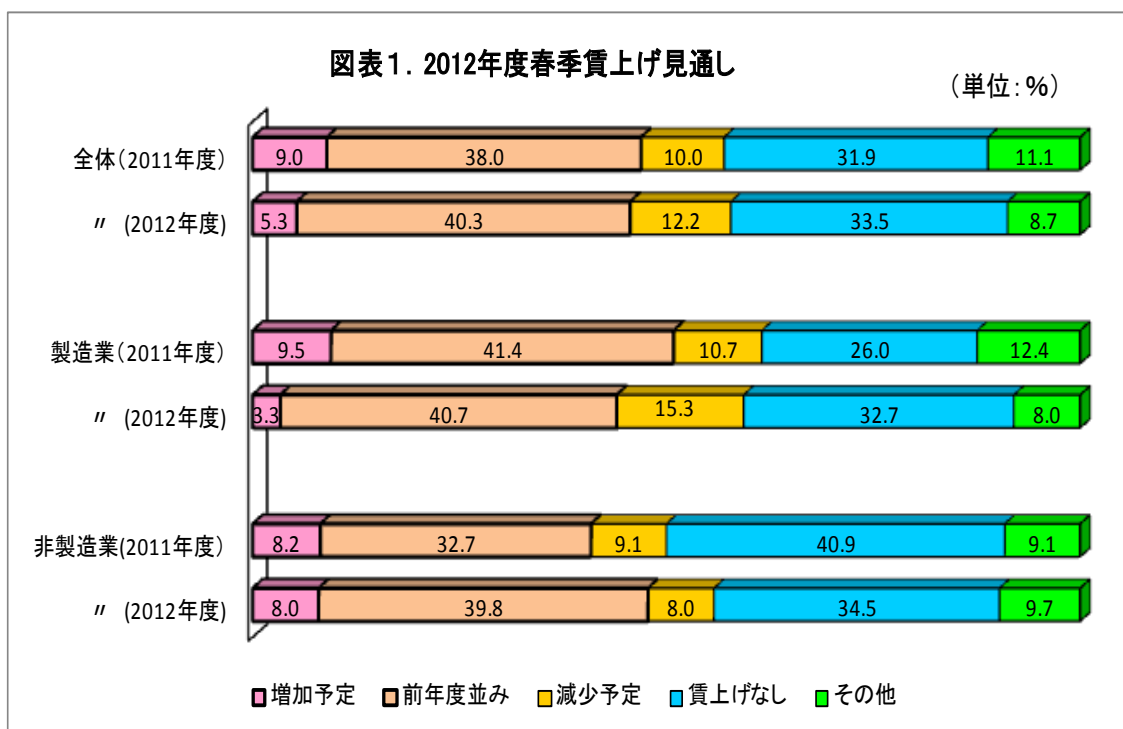
こうした状況の中で、昨年度調査でも見られた業種間あるいは規模の違いによる格差は今年度も窺われ、調査時点では欧州債務危機の見通しが立っていないことや海外経済の減速、極端な円高などの影響が、賃上げに取り組む姿勢に差を生じさせているものと思われる。(図表1)

(2) 業種別

製造業で、賃上げを予定している割合は59.3%と前年度比2.3%減少、「賃上げなし」の割合が32.7%で6.7%増加するなど、上述の厳しい経営環境を反映する情勢となっている。

一方、非製造業で、賃上げを予定している割合が55.8%と前年度比5.8%増加したのに対し、「賃上げなし」の割合は34.5%と6.4%減少するなど、やや改善し製造業とは対照的となっている。

製造業の業績が円高をはじめ海外からの影響を受けやすいことから、賃上げに取り組む姿勢も非製造業より厳しくなっていると考えられる。(図表1)



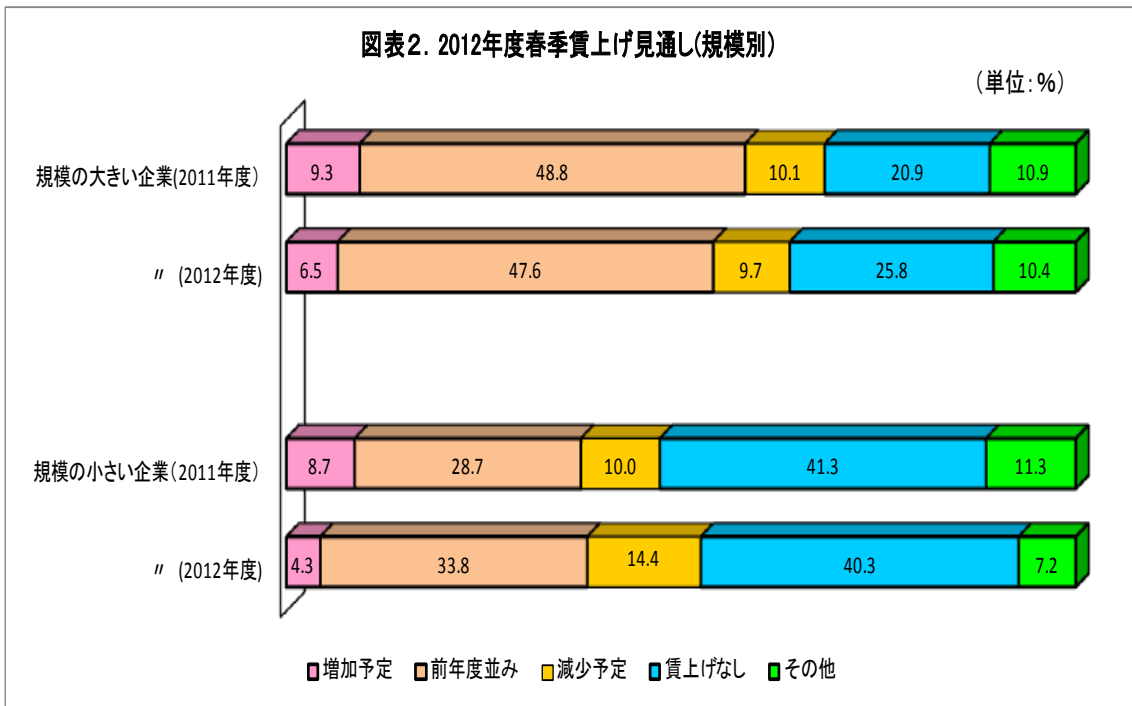
(3) 規模別

「規模の大きい企業」で賃上げを予定している割合は、63.8%で前年度比4.4%減少、「賃上げなし」が25.8%と4.9%増加するなど、上述の厳しい経営環境を反映する情勢となっている。

一方、「規模の小さい企業」では、賃上げを予定している割合が52.5%に達し前年度比5.1%と増加、「賃上げなし」も40.3%で1.0%と減少するなど、昨春に比べ賃上げに取り

組む姿勢がやや改善している。

規模間で比較すると、「規模の大きい企業」で賃上げを予定している割合は、「規模の小さい企業」を 11.3 ㊦上回るほか、「賃上げなし」は「規模の大きい企業」が「規模の小さい企業」を 14.5 ㊦下回っている。今春の「規模の小さい企業」の賃上げ情勢は、昨春よりやや改善しているとはいえ、昨年度同様「規模の大きい企業」に比べ厳しい賃上げ情勢と推量される。(図表 2)



2. 1人当たり平均賃上げ額及び賃上げ率

～今春の賃上げ額及び賃上げ率は前年度比総じて減少～

(1) 全体

全産業の 2012 年度見込み平均賃上げ額は 2,874 円、平均賃上げ率は 1.29%と、2011 年度実績(3,181 円、1.34%)に比べともに 307 円、0.05 ㊦と僅かに減少することが見込まれる。(図表 3)

これは、本調査が実施された 2012 年 2 月上旬の時点では、欧州債務危機の見通しが立たず海外経済の減速や極端な円高などから、景気の先行き不透明感が増し、経営者が賃上げに対して慎重になっていたことも一つの要因と考えられる。

(2) 業種別

製造業では、金額 2,421 円、率 1.15%と、2011 年度実績の 2,844 円、1.18%に比べともに 423 円、0.03 ㊦と僅かに減少している。同様に、非製造業でも、金額 3,306 円、率 1.43%と、2011 年度の 3,501 円、1.49%に比べ 195 円、0.06 ㊦減少している。(図表 3)

(3) 規模別

規模別に比較すると、「規模の大きい企業」は、「規模の小さい企業」よりも金額で 912 円、率で 0.61 ㊦上回った。

「規模の大きい企業」は、金額 3,031 円、率 1.40%と、2011 年度実績の 3,248 円、1.41% に比べ 217 円、0.01 ㊦と若干減少した。同様に、「規模の小さい企業」でも、金額 2,119 円、率 0.79%と、2011 年度の 2,854 円、1.01%に比べ 735 円、0.22 ㊦と減少した。(図表 3)

図表 3. 2012年度春季 1人あたり平均賃上げ額・賃上げ率

(単位：円、%)

区分	1人あたり平均賃上げ額			1人あたり平均賃上げ率		
	2012年度 予定額 A	2011年度 実績額 B	前年度比増 減額 A-B	2012年度 予定率 C	2011年度 実績率 D	前年度比増 減率 C-D
全産業	2,874	3,181	-307	1.29	1.34	-0.05
製造業	2,421	2,844	-423	1.15	1.18	-0.03
非製造業	3,306	3,501	-195	1.43	1.49	-0.06
規模の大きい企業	3,031	3,248	-217	1.40	1.41	-0.01
規模の小さい企業	2,119	2,854	-735	0.79	1.01	-0.22

(注) 平均賃上げ予定額及び賃上げ予定率はともに定昇込み加重平均による。

以上